

令和6年1月9日(火)

令和5年度3学期始業式のお話

新年のあいさつをしましょう。

あけましておめでとうございます。

新しい年、そして、3学期が始まりました。

校長先生から3つのお話をします。(座りましょう)

1つ目は、地震のお話です。

新しい年の最初の日、1月1日に神戸市内でも震度3の揺れを観測しました。

石川県能登半島で震度7の大地震が起こり、今も安否のわからない人がたくさんいらっしゃいます。そしてこの地震で亡くなった方が、今日現在で0名。

皆さんの中には、親戚や友達など、関係する方がこの地震で被災された方もいることと思います。今、私たちにできることは、一日も早く普段の生活に取り戻せるように願うとともに、電気や水道などの無駄遣いをやめる。ごみ出さないようにする。といった身近にできることから取り組むことが大切ではないかと思えます。

神戸では、この1月17日が来れば、阪神淡路大震災から29年となります。今、石川県で起こっていることと同じことが、ここ神戸であったことを思い出させる今回の地震の光景です。3学期は、どの学年も防災学習に取り組みます。

自分の命、周りの命を守る学習にしっかりと取り組んでくださいね。

2つ目は、これです。(グローブ)

今年からロサンゼルスドジャースというチームに所属する、野球選手大谷翔平さんから、小学生の皆さんへグローブが届きました。

大谷選手からメッセージも届いているので、一部読みます。

「この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただけたら幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

野球しようぜ。 大谷翔平」

大谷選手にとっては、野球こそが自分の人生を充実させる機会を与えてくれたスポーツだと言っていましたね。校長先生にとっては、音楽との出会いが自分の人生を充実させるものとなりました。皆さんにとっては何になるのでしょうか？皆さんが大きく成長したときに、

大谷選手のように野球なのか、他のスポーツなのか、勉強なのか、お笑いなのか、このグローブとの出会いがきっかけで、自分にとって大切なものとの出会いが生まれることが、この、「野球しようぜ!」のメッセージに込められていると思います。

明日以降、担任の先生からこのグローブの使い方について説明があります。学校全体で大切に使っていきましょう。

3つ目は、先生方のことです。

今年は、初めて先生になった先生を担当している「初任者研修の先生」上見先生のことです。上見先生が、この1月1日から兼務発令とあって、東灘小学校だけでなく、もう一つの学校神戸祇園小学校の先生としてもお仕事をさせていただくことになりました。

3・4・5年生の子供たちは、上見先生が時々授業をしてくれていましたね。3学期は、兼務発令で神戸祇園小学校でのお仕事になるので、授業することができません。学年の先生方と3学期の学習を頑張ってください。他の学年の皆さんも、上見先生と運動場で遊んだり、委員会やクラブの時間に一緒に活動したりしていたと思いますが、少し会える機会が減ってしまっていますが、上見先生は東灘小学校のことを大切に思いながら、神戸祇園小学校でお仕事頑張ってくれると思います。次帰ってこられた時には、「お帰りなさい! 私たちは元気にやっていますよ!」と言ってお出迎えしてくれたらなと思います。

今日はこの後書初会ですね。校長先生も昨日家で書初会をしてきました。これです。

「昇竜ひがしなだ」と書いています。「昇る」という漢字と、今年の干支「辰」を合わせて「昇竜」(しょうりゅう)。そのあとに「ひがしなだ」をつけました。

中国の古い言い伝えて、こいが滝を登って竜になるというお話があります。今年もいろいろな事にチャレンジして、東灘の子供たちが竜のようにたくましく成長してほしいと願って書きました。

この学年でいられるのもあと3カ月。各学年・学級でよい締めくくりをして、次の学年へつなげていける3学期にしていきましょう。これで、お話を終わります。